

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2972回例会プログラム

[当年度=40回目; 当月=2週目]

2017年(平成29年) 6月12日(月)

1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/19) ……
クラブ協議会
現理事挨拶
(6/26) ……
夕食例会(親睦活動委員会)
17:30~刈谷商工会議所 2階ホール

2. クラブ協議会……………〈司会: 次年度幹事〉

- 13:00 1. 次年度方針の発表……次年度会長
2. 次年度委員会別事業計画の検討

13. 点鐘……〈会長〉
14. 閉会宣言

- 13:30 15. 散会

出席

会員総数 92名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 82名
欠席 7名 出席率 91.46%
前々回(5/29)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 6月8日(木) 三好カントリー倶楽部に於いて、会長杯取り切り戦が開催されました。グロス83ネット77で小野雄司会員が優勝されました。
- 2) 6月9日(金)、刈谷市社会福祉協議会理事会に出席致しました。
- 3) ロータリー米山記念奨学会より、刈谷ロータリークラブへ米山功労クラブの感謝状が届きました。また鈴木文三郎会員へ第2回マルチプル米山功労者の感謝状が届きました。



幹事報告

- 1) 本日例会終了後、現次年度合同理事・役員・委員長会議を開催致します。関係の会員はご参集よろしくお願い致します。

落語“子別れ”

加藤 哲也



大工の熊五郎は、葬式の帰りに吉原で居続けをしたあげく、四日目にやっと家に帰った。あやまるどころか女郎ののろけ話で、あきれた女房は子供を連れて家を出てしまう。

熊はその晩から吉原へ通いづめ。

年季明けの女を家へ引っ張ってきて後妻にするが、先妻とは大違い。朝寝はするし飯は作らない。そのうち女は出ていき、熊は性根を入れ替えて仕事に精をだしはじめた。

三年がたち、生活は楽になった。あい変わらず独り身を続けていた熊は、仕事先で偶然に別れた子供の亀吉と会う。すっかり大きくなった息子に、母親のことを聞くと、再婚もせずに女手一つでがんばっている様子。

亀吉の話から母子で貧乏暮らしをしていることを知った熊は、明日二人で鰻を食べにいこうと誘い、小遣いをやってから「このことはおっかさんにはないしょにしろ」と言い聞かせて別れた。

はしゃぎながら家に帰った亀吉は、熊からもらった金を母親に見つかってしまう。

なんとかごまかそうとするが、母親はその金を亀吉が盗んだものと思いきみ、金槌でぶとうとするので、とうとう父からもらったと亀吉は白状し、鰻屋に誘われていることも話した。なぜか母親は怒りもせず、亀吉から熊の様子を聞いてうれしそうだ。

翌日、熊と亀吉が約束どおり鰻屋の二階で鰻を食べていると、鰻屋までついてきて外でウロウロしていた母親が我慢できずに入ってきた。

ひさしぶりの親子三人水入らず。両親ともうれしくてたまらないくせに素直になれない。熊はへどもどしながら亀吉と出会ったいきさを何度も繰り返すのに、そのおかしさに気がつかない。これをまた亀吉が冷やかしてまぜっかえす。

場をとりつくろおうとする熊は、亀吉をよくここまで育ててくれたと女房に礼を言い、もう一度よりを戻してくれないかと頼んだ。

その言葉を待っていた母親は涙声になりながら、

「うれしいよ、お前さん。この子がいく先どんなに幸せになるかもしれない。三年ぶりに会って、元のようになれるのもこの子があればこそ。子供は夫婦のかすがいですねえ」

すると亀吉が、

「あたいがかすがいだって、どうりで昨日、金槌でぶつと言った」

次年度方針の発表

ご挨拶と今年度の運営方針

2017～18年度会長 吉原 孝彦



“今こそ「温故知新」！～もっと楽しむために”

1997年秋、ご縁がありまして刈谷ロータリークラブに入会させて戴く運びとなりました。ロータリークラブは地域の代表であり、また経済界

の代表の方々の会する団体との認識が有り、入会させて頂くということは畏れ多いと共に、入会しなければお会いすることもお話しすることも滅多に出来ない方々とご一緒させて頂く喜びも感じたことを今でも覚えています。

それから20年。今、世界でロータリークラブが大きく変わろうとしています。2016年の規定審議会において会員身分の件とか例会開催要件等が変更されました。また、日本では会員数減少によりゾーンの再編成が行われ、第1ゾーンにはバングラデシュ・インドネシア・パキスタンが一緒になりました。特に会員身分につきましてRIは、「親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ」という価値観が大前提として変わらなく有るから会員の資格や資質を脅かすものではない、と述べていますが現実的には資格緩和に繋がっています。例会開催を含め各クラブ運営に柔軟性が大幅に認められましたが、個々のクラブのどのような変化が正解かは各地域によって異なります。しかし、ロータリーの「見える奉仕」を推進していくベクトルには同じ方向を向く必要があります。

そんな中、第64代会長を務めさせて頂き、身の引き締まる思いです。

刈谷ロータリークラブは創立以来64年の歴史の中で、先輩方の培ってこられた努力と良き伝統を以って地域社会に「変化をもたらす」存在に既になっていると確信しています。さらに、このロータリークラブの変化の年を好機と捉え、また私自身も初心を忘れずに刈谷ロータリークラブとして守らねばならないもの、発展的に変えたほうが良いものを見極めて個々の改善を積み重ねながら、ロータリーブランドの向上とより一層のイメージアップを図っていきたく存じます。

やっぱりロータリークラブ活動は楽しくなければいけません。ロータリーの基本をわきまえた中で会員一同一緒に例会を楽しみ、皆様と意義を感じながらより楽しく

参加できる奉仕事業が出来たら幸いです。

大変若輩で力不足の私ではございますが、出口幹事を始め理事・役員・委員長一丸となって邁進していく所存ですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。また、今年度は理事・役員も少し若返りますので更なるご指導、ご鞭撻を併せてお願い申し上げます。

2017～2018年度 イアン・ライズリー RI 会長テーマ

ROTARY：MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～2018年度 神野 重行 第2760地区ガバナー方針

「今日からのロータリーを楽しもう！」

2017～2018年度 刈谷ロータリークラブ運営方針

1. 地区補助金を使用した社会奉仕活動の推進
2. 地域に根付いた青少年奉仕活動の推進
3. 地区事業への積極的参加
4. 青少年交換学生のお世話
5. ロータリー財団・米山記念奨学会への寄与
6. 会員増強と維持
7. 3000回記念例会の開催
8. 刈谷ロータリークラブ細則の策定
9. 中長期計画委員会の設置

当年度及次年度合同理事・役員・委員長会議次第

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 次年度会長挨拶 〈次年度会長〉
- III 当年度議題
 1. 年次報告書について 〈幹 事〉
 2. その他
- IV 次年度議題
 1. 7月のプログラム（案）について
〈次年度クラブ奉仕委員長〉
〈次年度プログラム委員長〉
 2. わんさか祭り協賛について
〈次年度社会奉仕委員長〉
 3. ひかりの家バザーに対する後援について
〈次年度社会奉仕委員長〉
 4. 報道関係者との懇談会について
〈次年度公共イメージ向上委員長〉
 5. 一般会計予算（案）について 〈幹 事〉
 6. その他
- V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ

6月度刈谷 RC ゴルフ例会(会長杯取切戦)

平成29年6月8日(木)

於：三好カントリー倶楽部東コース

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	小野 雄司	83	6	77
2 位	横山 宜幸	85	6	79
3 位	内藤 昇	93	14	79
B B	霜出 俱弘	127	27	100

